

身障協会総会

令和の新年号が決まり五月十二日(日)綾瀬市保健福祉プラザ1F多目的室で、令和元年綾瀬市身障協会の総会が午後一時から行われました。

当日配布する総会資料・研修会資料の印刷、会場配置等は障がい福祉課の皆さんの協力で準備されました。参加会員は二十二名、委任状は二十八名、会員七十五名の半数以上で総会は成立しました。

来賓には、古塩綾瀬市長、綾瀬社協から樋口常務理事、綱島洋一神奈川県議会議員、甘利国会議員の秘書町田氏がお見えになって下さり、定刻より始まりました。



開会の言葉に続いて来賓の方々から身障協会を励ますご挨拶を頂き、来賓の皆様は次の式典等に退出されました。

微笑

第49号
令和1年7月15日
発行者
綾瀬市身体障害者
福祉協会

その後、会長により平成三十年度事業報告・収支決算が説明され、会計監査より監査報告がされました。そして今年度・令和元年の事業計画、事業予算の背手名が行われ両案とも満場一致で可決されました。



続いて、金子副会長より「綾瀬市身体障害者福祉協会のホームページ」の開設の説明が行われ、パソコンや携帯電話を持っていらっしゃる方はつないで見て下さい。

その後の研修会は、昨年と同様・綾瀬市社会福祉協議会 地域福祉班・班長 石橋正道氏による「あなたの身近な社会資源と地域を知れば綾瀬がもっとわかる」と題して昨年の続きからお話頂き、総会・研修会を終了しました。今年度も役員一同頑張つて回を運営して行きますので、会員の皆さんのご協力をお願い致します。

西川和朗

身障協会のホームページ開設のお知らせ

今年度から、身障協会のホームページを開設しました。会の概要や組織をはじめ、活動内容やお知らせなどが掲載されています。

パソコン用とスマホ用の両方のホームページを設けてありますので、どちらからでも見やすくアクセスすることが出来ます。

皆さまからの貴重な情報や各部会の活動報告などお待ちしております。有効にホームページをご活用下さい。



ホームページURL
<https://ayasinkyousakura.ne.jp/>



↑
スマホ用
QRコード

スマホ用URL
<https://ayasinkyousakura.ne.jp/sp/>

新聞記事より

◎障害者手帳

カード型の発行が可能に
読売新聞 3月31日

障害者に交付される障害者手帳は4月1日以降、自治体の判断でカード型の発行が可能になる。運転免許証やクレジットカードなどと同じサイズで、手軽に持ち運べるようになる。

カードでの交付を始めるのは、身体障害者手帳と、2年ごとに更新する精神障害者保健福祉手帳。手帳には氏名や障害の程度などが記載されており、公的な証明に使われるほか、公共交通機関などで示せば割引を受けられることがある。従来の手帳は縦約10センチ・メートル、横約7センチ・メートルで、「大きくて財布に入らない」などと改善を求める声が出ていた。

カードはプラスチック製で、紙製の手帳より丈夫だ。交付にはシステム改修など自治体の準備も必要で、実際に始まるのは早くとも数週間先になる見通し。

厚生労働省によると、2018年3月時点で身体障害者手帳は約511万人、精神障害者保健福祉手帳は約99万人が交付を受けている。

<注意> 神奈川県では、障害者手帳のカード化はまだ導入されていません。また、導入されても「本人や家族が希望する場合にカード型の交付も可能」という位置付けなので、義務化ではありません。

「画像」カード型障害者手帳のイメージ



「自由に本を」読書バリアフリー

法案 国会に提出へ

朝日新聞 5月22日

視覚や上肢の障害、発達障害などがある人の読書環境を整えようと、超党派の国会議員が今国会に「読書バリアフリー法案」を提出する見通しになった。

18カ条からなり、「障害の有無にかかわらず全ての国民が等しく読書を通じて文字・活字文化の恵沢を享受できる社会の実現に寄与する」とうたう。7条と8条では、国が読書環境整備の基本計画を定め、自治体に障害当事者の意見を反映した具体的な計画をつくるよう求めた。

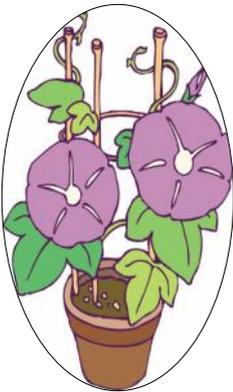
国や自治体を取り組むべき基本的施策も盛り込まれた。障害者が利用しやすい図書館の整備(9条)▽インターネットによるサービス提供の強化(10条)▽読みやすい書籍や電子書籍の製作支援、販売促進(11、12条)▽使いやすい電子書籍や端末など先端技術の研究開発(16条)などだ。法制定を求める動きは2008年ごろ始まり、日本盲人会連合、DPI

(障害者インターナショナル) 日本会議、弱者問題研究会、全国盲ろう者協会の障害当事者4団体が、「自由に本を読みたい」と共同で取り組んできた。日本は昨年、障害者の読書環境整備をめざす国際条約(マラケシュ条約)を批准した。

ログイン前の続き国内の点字図書や録音図書は現在30万タイトルほどで、国立国会図書館にある1千万タイトル以上に比べればわずかだ。音声で読み上げられる電子書籍も一部にとどまる。当事者団体の関係者は、そんな現状を「本の飢餓」と例える。

超党派の「障害児者の情報コミュニケーション推進に関する議員連盟」(会長・衛藤晟一首相補佐官)が昨年12月に発足し、今年2月の総会で法案をまとめた。まもなく提案され、参議院で審議が始まる見込みだ。

自立生活センター東大和(東京都東大和市)理事長の海老原宏美さんは、筋力が低下する難病の脊髄性筋萎縮症Ⅱ型。ブックスタンドを使って介助者にページをめくってもらって読んでいる。「病気で読書をあきらめている人はけっこうおり、法成立にすぐく期待していません」。多くの自治体は、音声で読み上げる機器購入への助成対象を視覚障害者に限っており、海老原さんは対象拡大を切望している。



車いす部会 食事会

7月6日土曜日「車いす部会・食事会」が、華屋与兵衛 綾瀬深谷店で12名の参加を得て行われました。部会としては久しぶりの会合で、社会福祉協議会の協力を得てキャブを運行してもらい11時から始まりました。部会長の挨拶後、積もる話をしながら、おいしいコース料理を頂きました。やはり、外出時の足の確保の話が多く、部長から「UDタクシー」のチラシが配られました。

神奈川県内のタクシー会社もリフト付きタクシーを運行させ始めましたが、まだ台数も少なく予約しにくいのが難点です。でも、利用料金が一般の金額と同額なので魅力を感じます。早く県央地区でもUDタクシーの数が増えることを期待しています。

それ以外にも障害を負って長期になると、体力も落ち始め今までのように簡単に遊びに行けなくなったりなど、愚痴も多くなりましたが、とても楽しい時間を過ごしました。



食事会後集合写真を撮って20日の「ボランティア連絡協議会」の交流会での再会を約束して家路につきました。

令和元年身障協会の行事予定

- ◎七月十一日(木) 県身連歩行訓練会 「高尾山」
- ◎七月二十日(土) ボラ協議会交流会 「市オーエンス文化会館」
- ◎九月二四日(火) 身障協会バス旅行 「横浜中華街等」
- ◎十月六日(日) 県障害者福祉大会 「横須賀市文化会館」
- ◎十月二七日(日) ふれあいまつり 「市オーエンス文化会館」
- ◎十一月九日(土) 福祉レク大会 「市スポーツセンター」
- ◎十二月七日(土) あやともまつり 「市オーエンス文化会館」

◎は参加連絡が必要ですよ！

また未定の行事もありますが、皆さんには会報と共にお知らせを入れます。前ページにあります「協会ホームページ」もそうですが、協会ではパンフレットも作って会員増加を図っていますので、皆さんのご協力をお願いします。



年会費(千五百円)の支払いの済んでいない方は、会行事に参加したとき、会口座「さがみ農協・あやせ支店・普通預金口座0680487・綾瀬市身体障害者福祉協会」に振込、又は会長宅に郵送願います。